ＭＳ３４４－３００１４／５
GRサイドスカート

取付・取扱要領書

この度はGRサイドスカートをお買い上げ頂き誠にありがとうございます。
本書は本商品の取付け、取扱いについての要領と注意事項を記載してあります。
取付け前に必ずお読みのうえ、正しい取付け、取扱いを実施してください。

★ 本商品は登録後架装を前提としています。

■ 品番・適合車種

品　番	塗装色	適合車種	備 考
MS344-30014-A0	プレシャスホワイトパール(090)	クラウンクロスオーバー	
MS344-30014-C0	ブラック(202)		
MS344-30014-C2	ニュートラルブラック(229)		
MS344-30015-NP	未塗装品		

・最新の適合情報は TRD カタログサイトをご覧ください。 https://www.trdparts.jp/

■ 構成部品

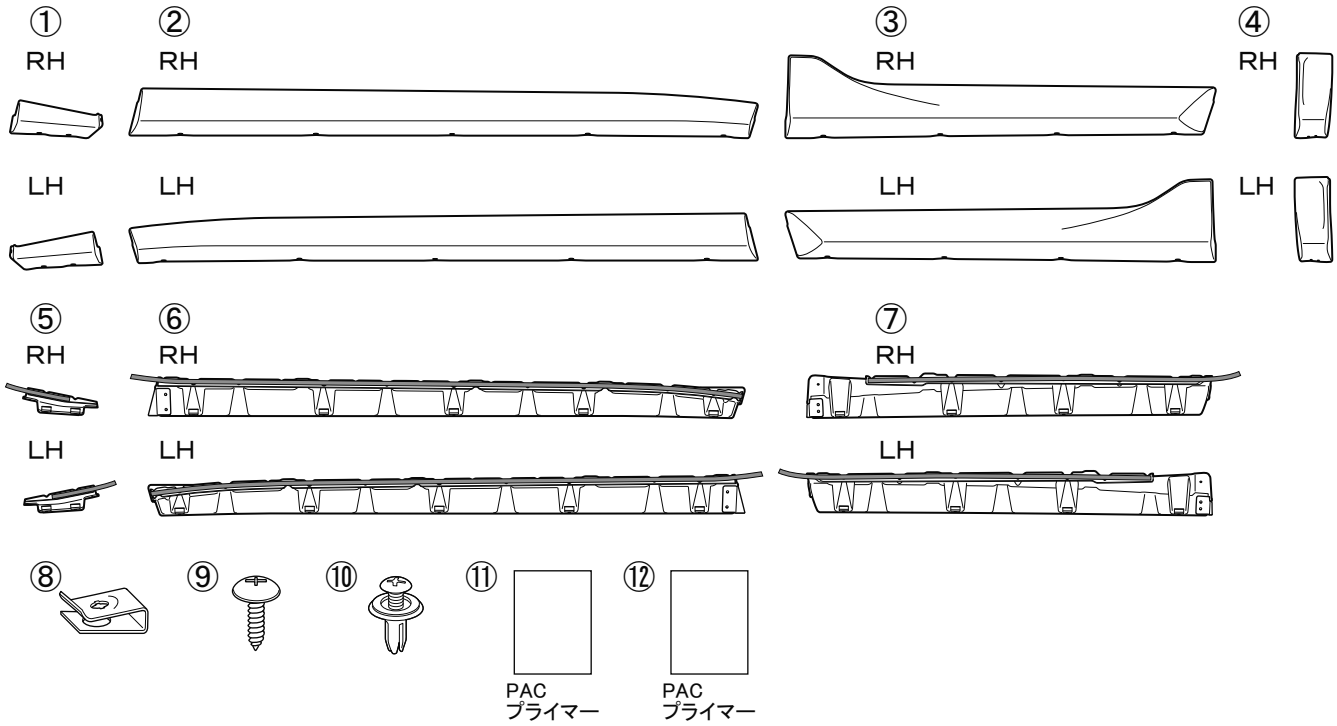
No.	品　名	品　番	個数	備　考
①	FR フェンダーアウター （RH／LH）		各1	
②	FRドアアウター （RH／LH）		各1	
③	RRドアアウター （RH／LH）		各1	
④	RRフェンダーアウター （RH／LH）		各1	
⑤	FRフェンダーインナー （RH／LH）		各1	
⑥	FRドアインナー （RH／LH）		各1	
⑦	RRドアインナー （RH／LH）		各1	
⑧	Uナット		26	
⑨	タッピングスクリュー		26	4×12
⑩	スクリベット		42	
⑪	PACプライマー（赤袋）	08867-00250	1	N210NT
⑫	PACプライマー（青袋）	08867-00230	1	K-500

※ ⑬は、MS344-30015-NP（未塗装品セット）のみに同梱されています。

No.	品　名	品　番	個数	備　考
⑬	エンドモール		2	黒：L = 3000

※確認・本商品が到着後、すぐに本体に破損がないこと、付属品が全てそろっていることを確認してください。

■ 構成部品図



※ ⑬は、MS344-30015-NP（未塗装品セット）のみに同梱されています。

取り付け上のご注意（取り付け作業者の方へ）

作業を行なう前に必ずお読みになり、安全で確実な取り付け作業を行なってください。

⚠ 警告	この内容に従わず、誤った取り付け・取り扱いを行なうと生命の危険または、重大な傷害等を負う可能性がある内容について記載しています。
⚠ 注意	注意事項を守らないで、誤った取り付け・取り扱いを行なうと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがある事を記載しています。
アドバイス	スピーディに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

⃠ やってはいけないこと　　❗ 必ず行なっていただくこと

⚠警告

⃠ 本商品への改造・加工、及び適合車種以外への装着は、重大な事故や故障を招くおそれがありますので絶対に行なわないでください。

❗ 本商品の取り付け・交換は、該当車両の修理書(トヨタ自動車㈱発行)に従い、本書の注意事項をまもり作業を行なってください。

❗ 取り付け作業は規定トルクに従って、確実に締め付けてください。締め付けが足らないと脱落などにより重大な事故や故障を招くおそれがあります。

⚠注意

❗ 本商品を取り付け前に、本体・構成部品がすべて揃っていること、損傷や不具合が無いことを確認してください。取り付け後に発覚した損傷や不具合のクレームには、対応できない場合があります。

❗ 本商品の取り付けは、キズ付き防止のため保護シートの上で取り扱いを行ない、同時に取り付け部位を保護材にて養生をした上で作業を行なってください。取り付け作業時のキズ付きや破損に十分に注意してください。

脱脂作業について（別添の脱脂作業要領も参考にしてください。）

⃠❗ 脱脂作業を行なう際は、清潔なウエスを使用して、イソプロピルアルコール(IPA)を使用し、記載以外の溶剤は絶対に使用しないでください。

⃠ 脱脂作業にボディーコーティング等の下地処理剤や、パーツクリーナー、ブレーキクリーナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。正しく脱脂が出来ず浮き、剥がれの原因となります。

両面テープについて

❗ 脱脂作業を怠ると両面テープを接着しても剥がれます。

⃠ 両面テープは一度貼り付けてから剥がしますと、接着力は低下しますので再貼り付けはできません。

⃠ 外気温が15℃未満の場合は、両面テープの接着力が著しく低下します。
部品または貼り付け面を人肌程度まで加温してください。

❗ 両面テープの圧着は49N（5kgf）以上(車両が軽く揺れる程度)で確実に行なってください。
圧着が足らないと両面テープが剥がれます。

⃠ 本商品の取り付け後24時間は、洗車や水(水拭きを含む)・雨などが、掛からないようにしてください。
装着後の注意事項を守らなかった場合、製品の浮き、剥がれの原因となります。

取り付けが終わったら

❗ 取り付け後、本商品と車両との干渉が無いことを確認してください。

❗ 作業にバッテリーのマイナス端子を外した場合は、作業終了後にシステム設定・確認を行なってください。

❗ 本取り付けに伴い分解・脱着した部位により、再設定・調整が必要となる場合があります。
該当車両の修理書（トヨタ自動車㈱発行）に従い、各部の点検・調整・設定を行なってください。

■ 目次

１．表紙、品番・適合車種、構成部品、構成部品図・・・・・・・・・・・・・・・１～２
２．取り付け上のご注意（取り付け作業者の方へ）・・・・・・・・・・・・・・・・・３
３．目次、取り付けに必要な工具・保護具・消耗品、保証について、取付構成図・・４
４．取付準備、取付要領・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５～１６
５．取付完了後の点検・注意事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１６
６．未塗装品の取扱いについて・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１７～１９
７．補修キット両面テープ貼り付け・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２０

■ 取り付けに必要な工具・保護具・消耗品

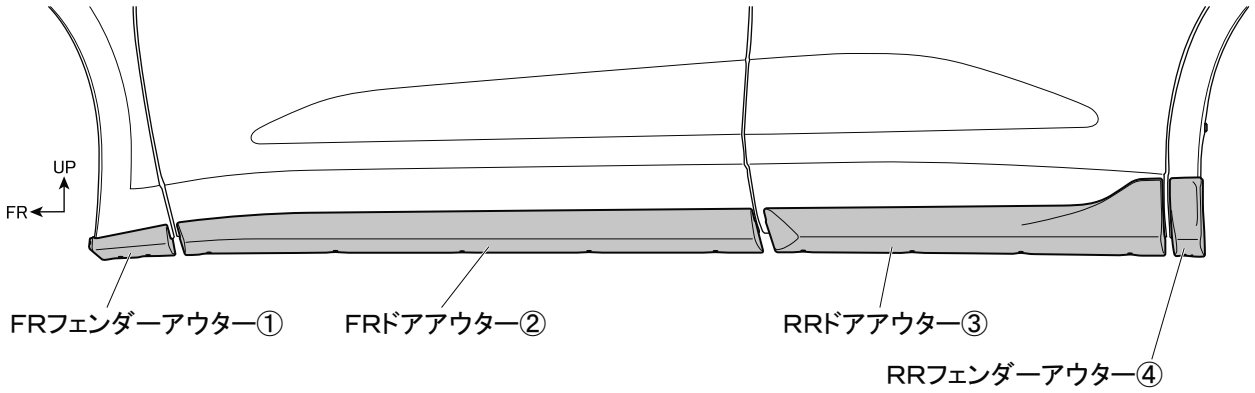
・一般工具
・加工用工具（ハサミ・カッター等）・ヤスリ・保護メガネ
・電動ドリル（刃：３．０mm/５．０mm/６．５mm）
・軍手・保護シート・保護テープ・マスキングテープ・養生テープ
・イソプロピルアルコール（ＩＰＡ）・清潔なウエス

■ 保証について

本商品は、１年・20,000Ｋｍの保証を実施致します。
（１年または20,000Ｋｍ走行時点のいずれか早い方まで）
※保証の詳細はＴＲＤパーツカタログサイト＜https://www.trdparts.jp/＞
「保証について」をご覧ください。

■ 取付構成図

※LH図示



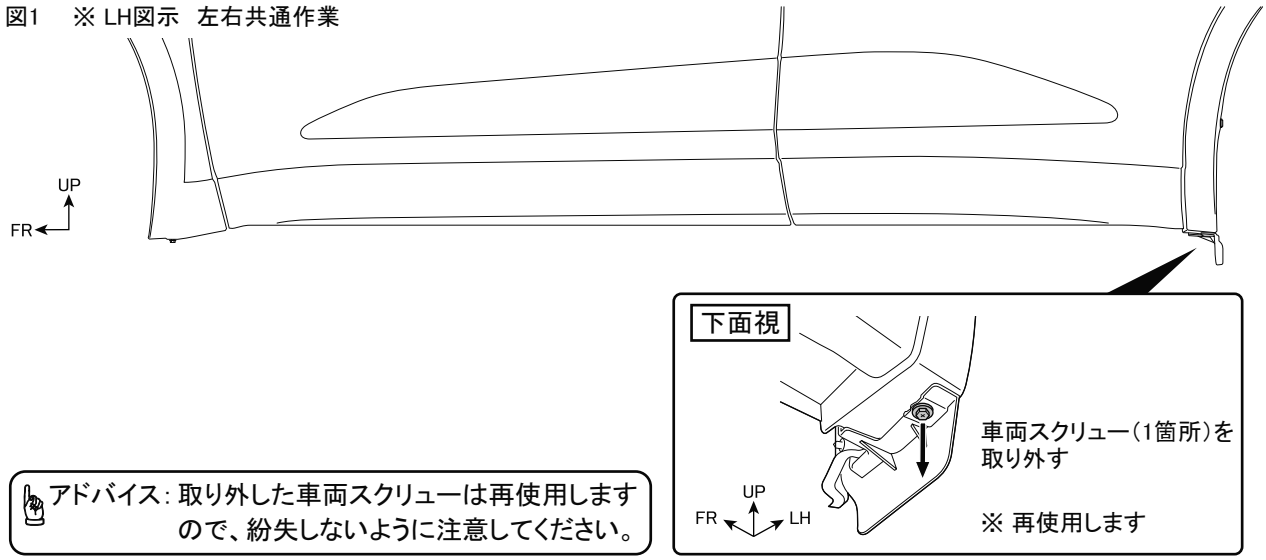
■ 取付準備、取付要領

※ 本取付・取扱要領書は、主にLH側を示しており、RH側も同様に行なってください。

□ サイドスカート取付準備

1. 図1のように、RRフェンダー下部の車両スクリュー（1箇所）を取り外す。

図1　※ LH図示　左右共通作業

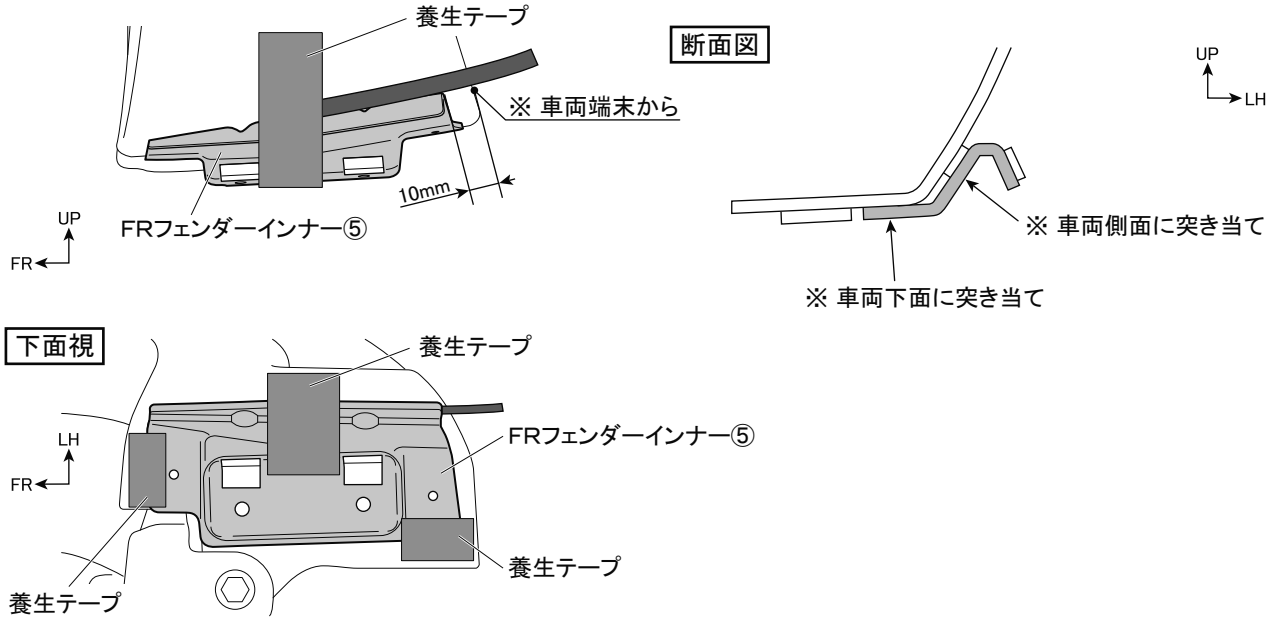


アドバイス：取り外した車両スクリューは再使用しますので、紛失しないように注意してください。

2. 図2のように位置を合わせ、FRフェンダーインナー⑤を養生テープで仮固定する。

⚠ 注意：FRフェンダーインナー⑤は、取付穴あけ治具の役割を持っているため、図示の位置で確実に位置出しを実施してください。

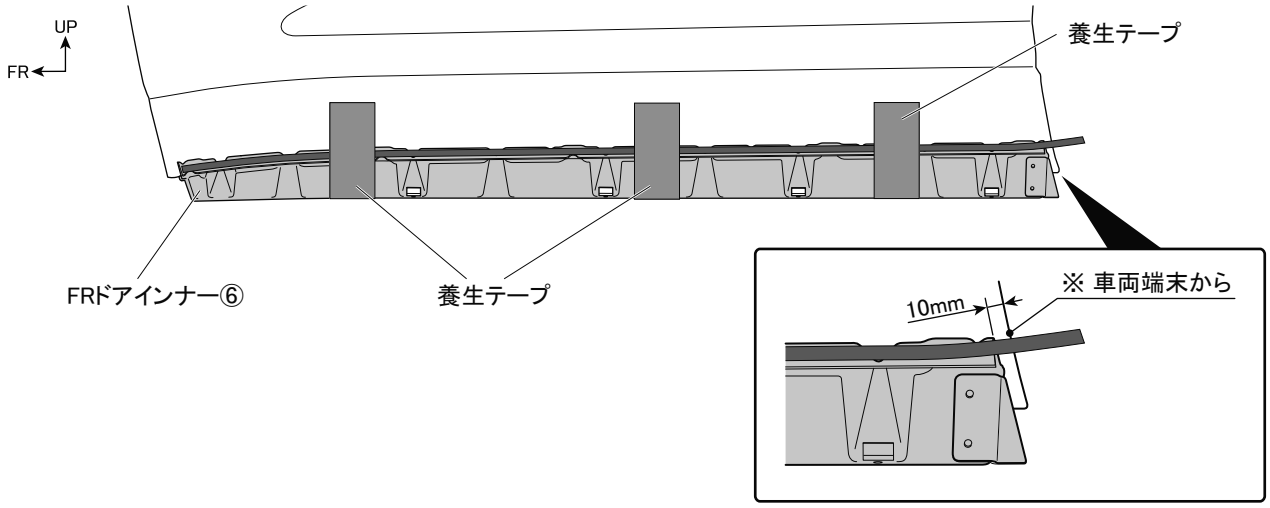
図2　※ LH図示　左右共通作業

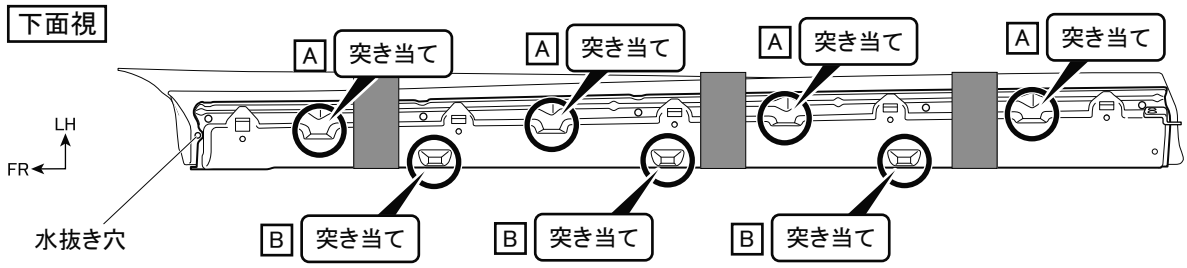


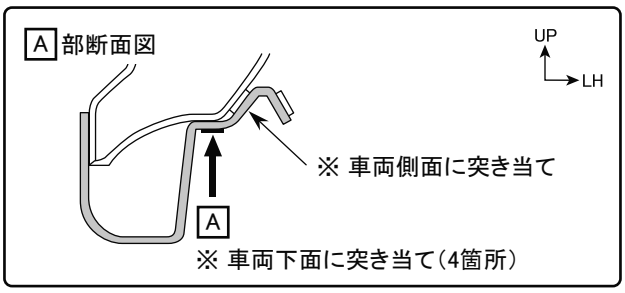
3. 図3のように位置を合わせ、FRドアインナー⑥を養生テープで仮固定する。

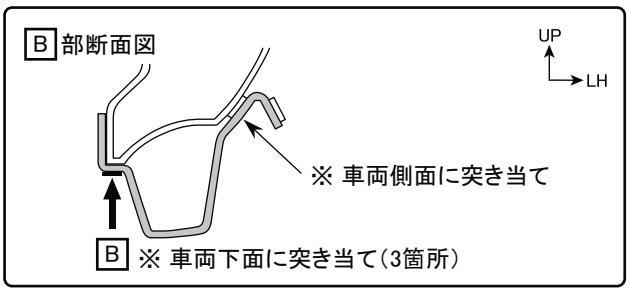
⚠ 注意：FRドアインナー⑥は、取付穴あけ治具の役割を持っているため、図示の位置で確実に位置出しを実施してください。

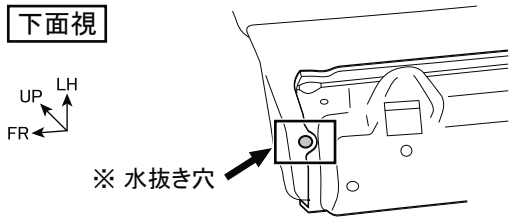
図3



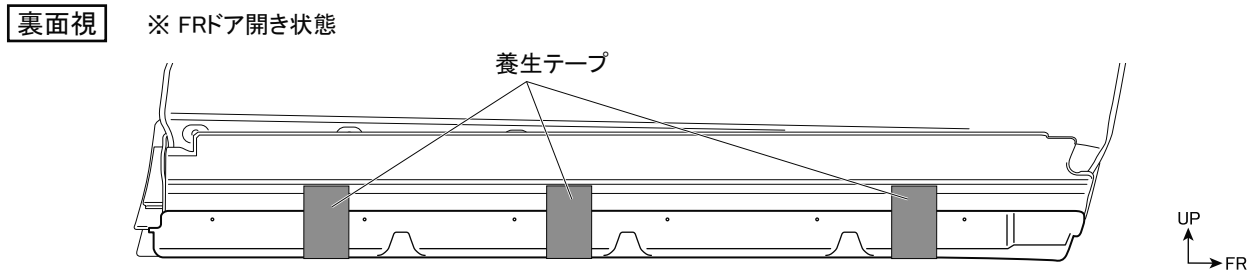






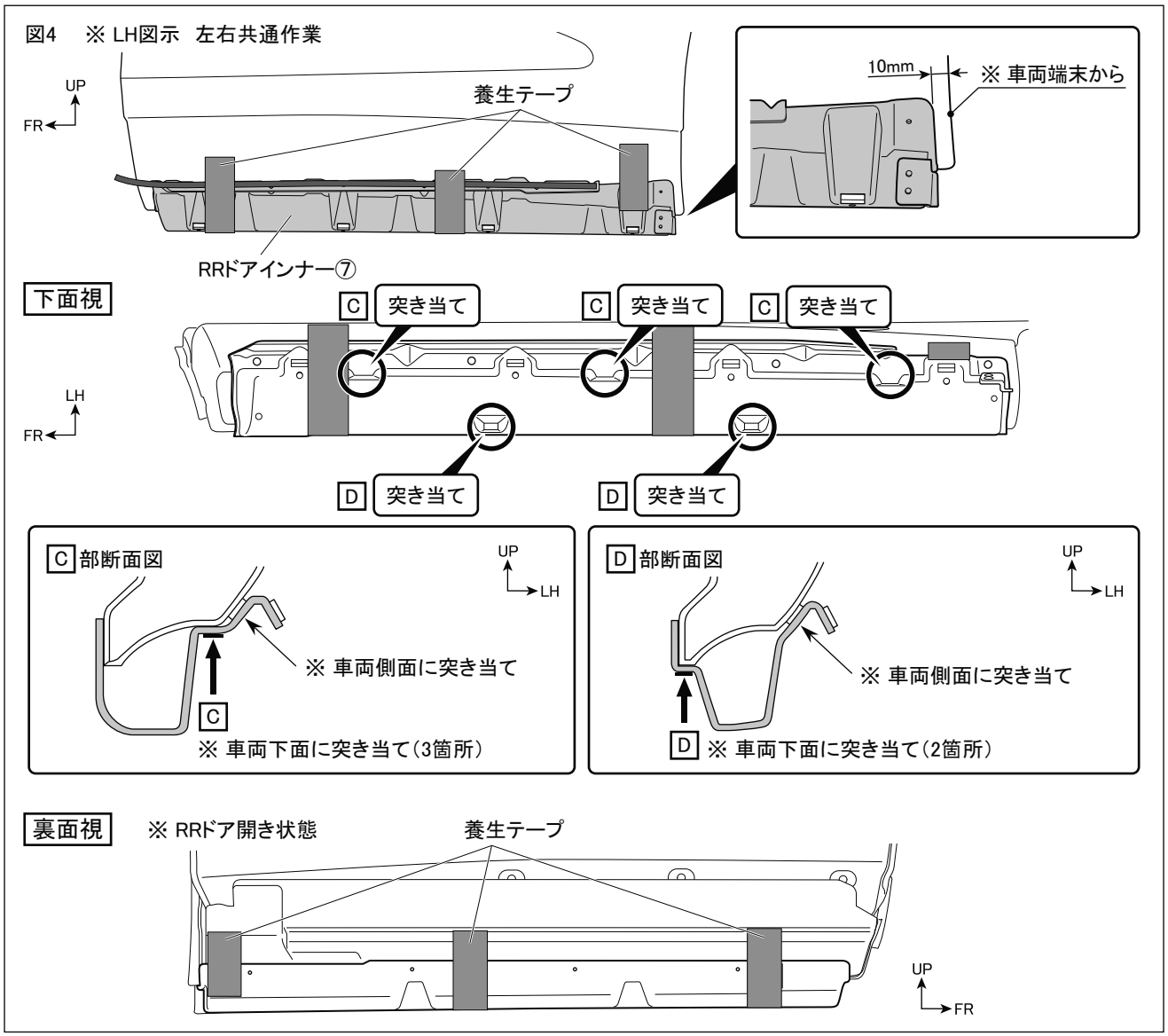


アドバイス：FRドアインナーが、車両の水抜き穴に被っていないことを確認してください。

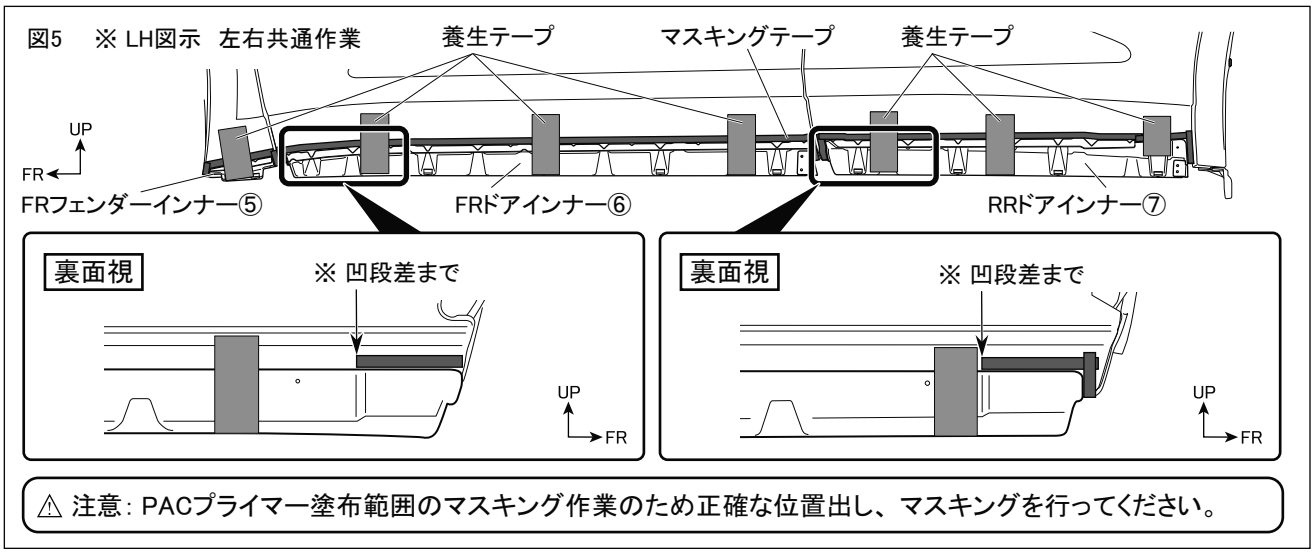


4. 図4のように位置を合わせ、RRドアインナー⑦を養生テープで仮固定する。

⚠ 注意：RRドアインナー⑦は、取付穴あけ治具の役割を持っているため、図示の位置で確実に位置出しを実施してください。



5. 図5のようにFRフェンダーインナー⑤、FRドアインナー⑥、RRドアインナー⑦端末に合わせて車両側面にマスキングテープを貼り付ける。



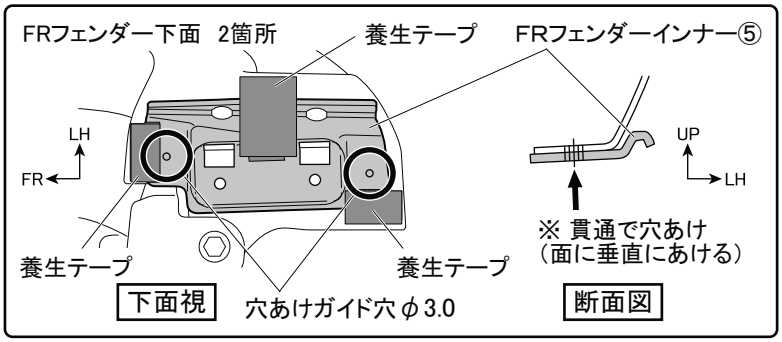
⚠ 注意：PACプライマー塗布範囲のマスキング作業のため正確な位置出し、マスキングを行ってください。

6. 図6のように、FRフェンダーインナー⑤（2箇所）、FRドアインナー⑥（11箇所）、RRドアインナー⑦（8箇所）の穴あけガイド穴（φ3.0）に合わせて、車両とインナーに貫通で穴をあける。（下穴φ3.0→φ5.0→本穴φ6.5）

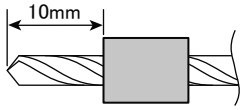
FRドアインナー⑥およびRRドアインナー⑦は穴あけ箇所が多いため、まず両端の穴あけガイド穴に合わせて本穴まであけ、両端の穴にスクリベット⑩を挿入して固定し、穴あけ位置がずれないようにして、残りの穴あけガイド穴（φ3.0）に合わせて穴をあける。（下穴φ3.0→φ5.0→本穴φ6.5）

図6　※ LH図示　左右共通作業

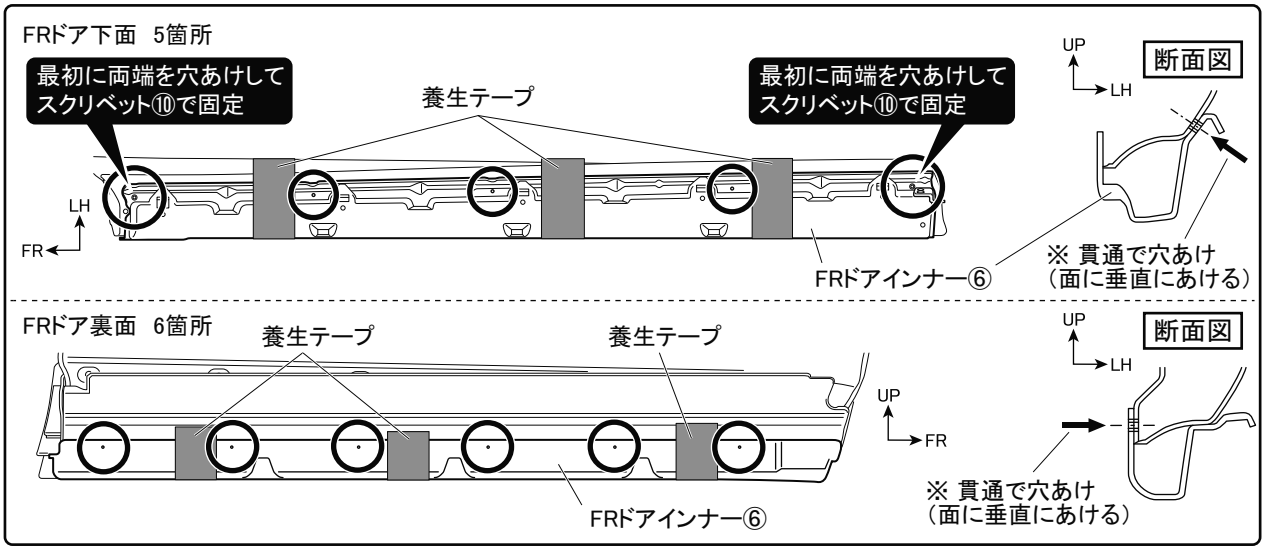
⚠ 注意：FRフェンダーインナー⑤の穴あけ作業は、インナーの取付位置が変わらないよう注意してください。



アドバイス：
傷つき防止のため、ドリル尖端から約10mmの位置に、養生テープ等を巻いてください。



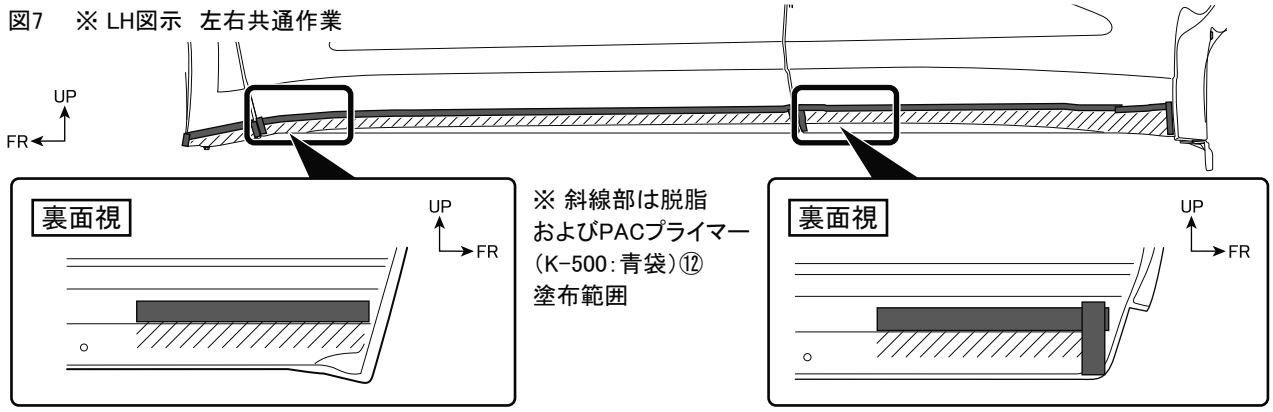
⚠ 注意：FRドアインナー⑥およびRRドアインナー⑦の穴あけ作業は、まず両端の穴あけガイド穴で本穴まであけ、スクリベット⑩で固定して穴あけ位置がずれないようにした後、残りの穴を穴あけガイド穴に合わせてあけてください。



7. 穴あけ後、FRフェンダーインナー⑤、FRドアインナー⑥、RRドアインナー⑦を取り外す。加工穴にバリがある場合は除去する。

8. 図7のように、FRフェンダーインナー⑤、FRドアインナー⑥、RRドアインナー⑦の両面テープ貼り付け部の汚れを取り除き、イソプロピルアルコール（IPA）で一方向に拭いて脱脂し、PACプライマー（K-500：青袋）⑫を塗布する。

図7　※ LH図示　左右共通作業



アドバイス：脱脂後は、十分に乾燥させてください。

⚠ 注意：脱脂を行なう際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。

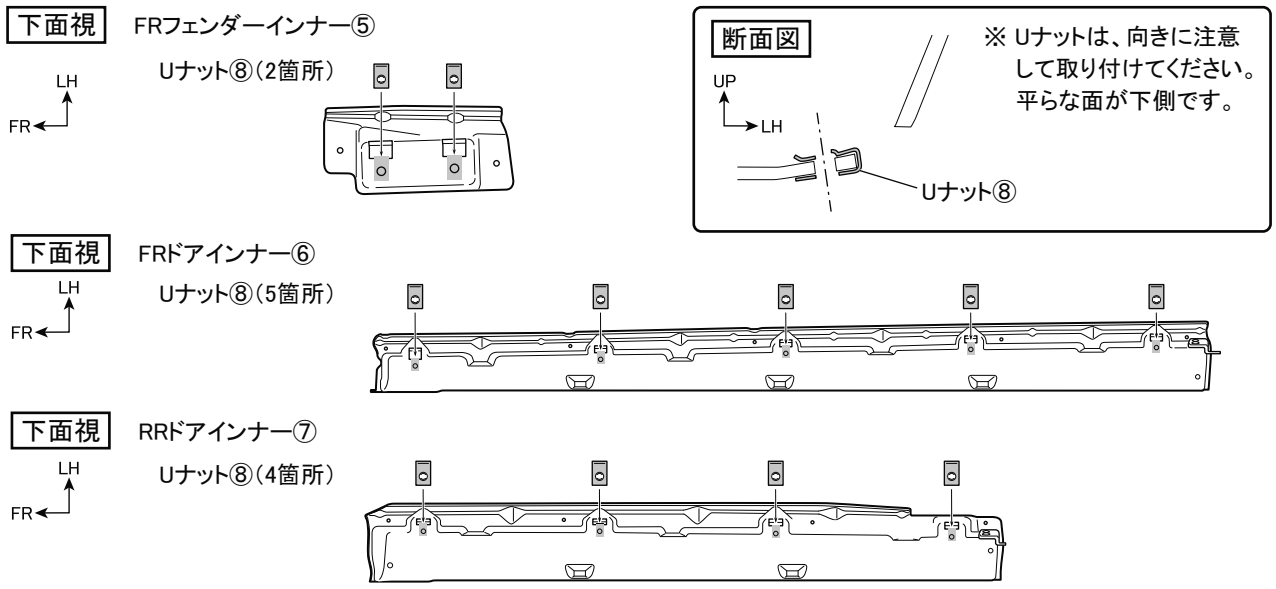
⚠ 注意：プライマーが塗布範囲以外に付着した場合は、直ちにイソプロピルアルコール（IPA）で拭きとってください。付着してしまいますと、変色する事がありますので注意してください。

⚠ 注意：PACプライマー（青袋）は、サイドスカート取り付け時に再使用します。揮発性が高いので速やかに袋に戻し揮発を抑えてください。

9. プライマー塗布後、マスキングテープを剥がす。

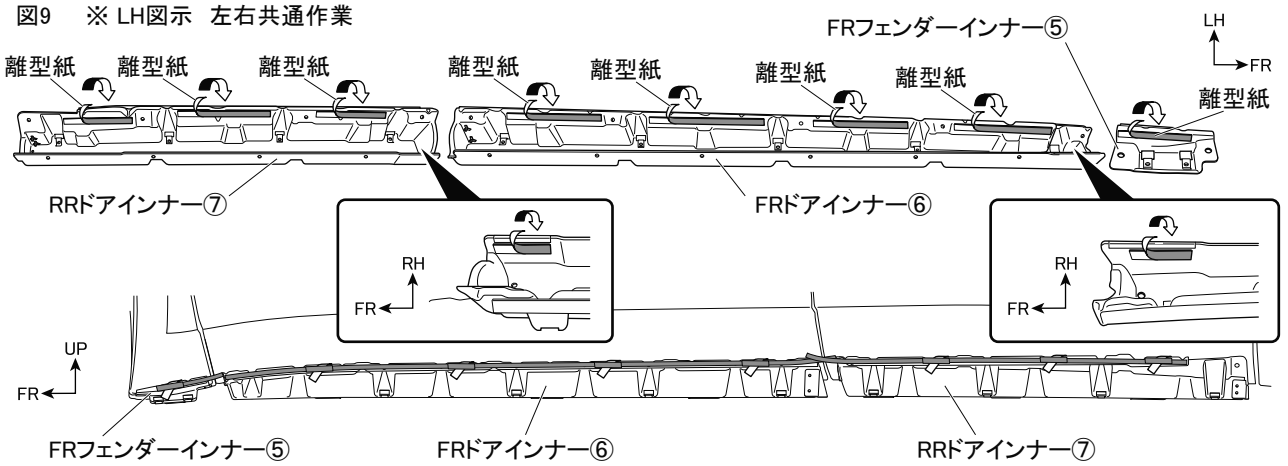
10. 図8のように、FRフェンダーインナー⑤、FRドアインナー⑥、RRドアインナー⑦に、Uナット⑧を取り付ける。

図8　※ LH図示　左右共通作業



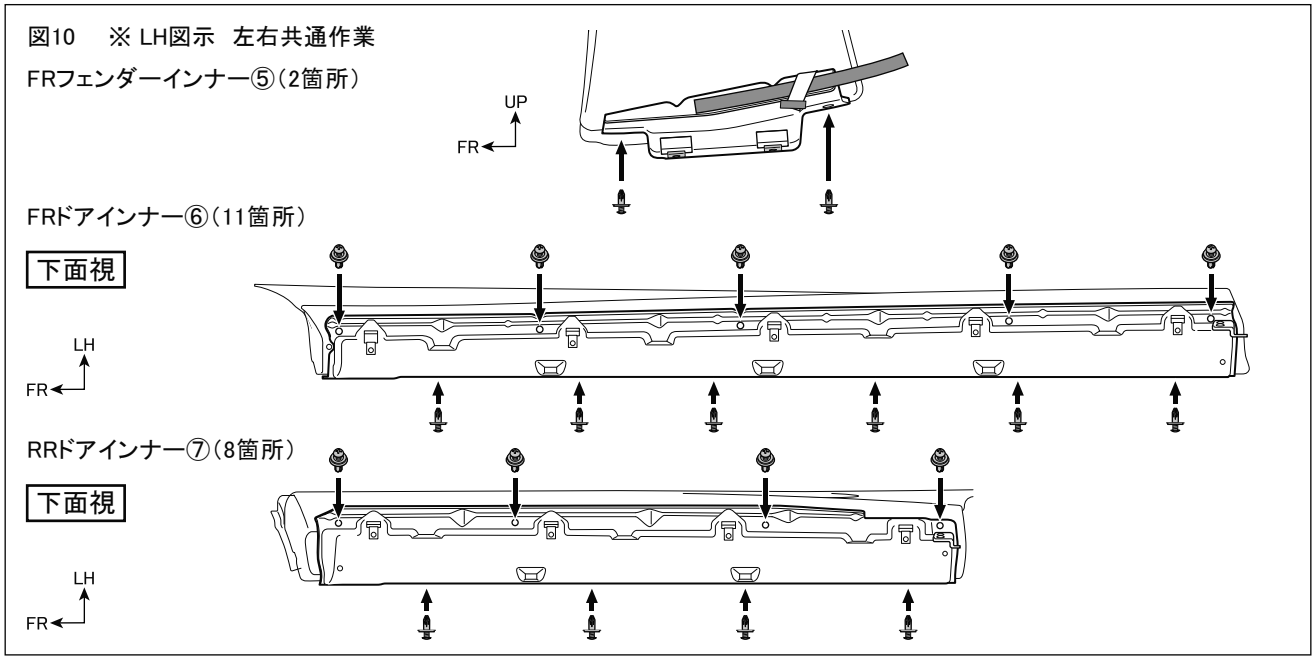
11. 図9のように、FRフェンダーインナー⑤(1箇所)、FRドアインナー⑥(5箇所)、RRドアインナー⑦(4箇所)の両面テープ離型紙を、矢印の方向に一部剥がし、マスキングテープ等で表面側に貼り付ける。

図9 ※ LH図示 左右共通作業



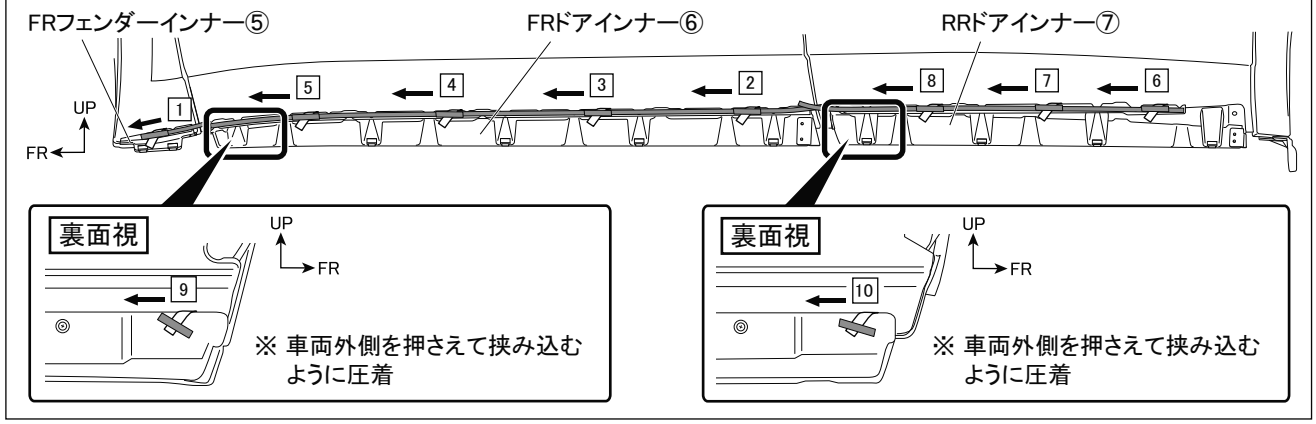
12. 図10のように、FRフェンダーインナー⑤(2箇所)、FRドアインナー⑥(5箇所)、RRドアインナー⑦(4箇所)の穴に合わせて、スクリベット⑩を挿入し、各インナーを固定する。

図10 ※ LH図示 左右共通作業



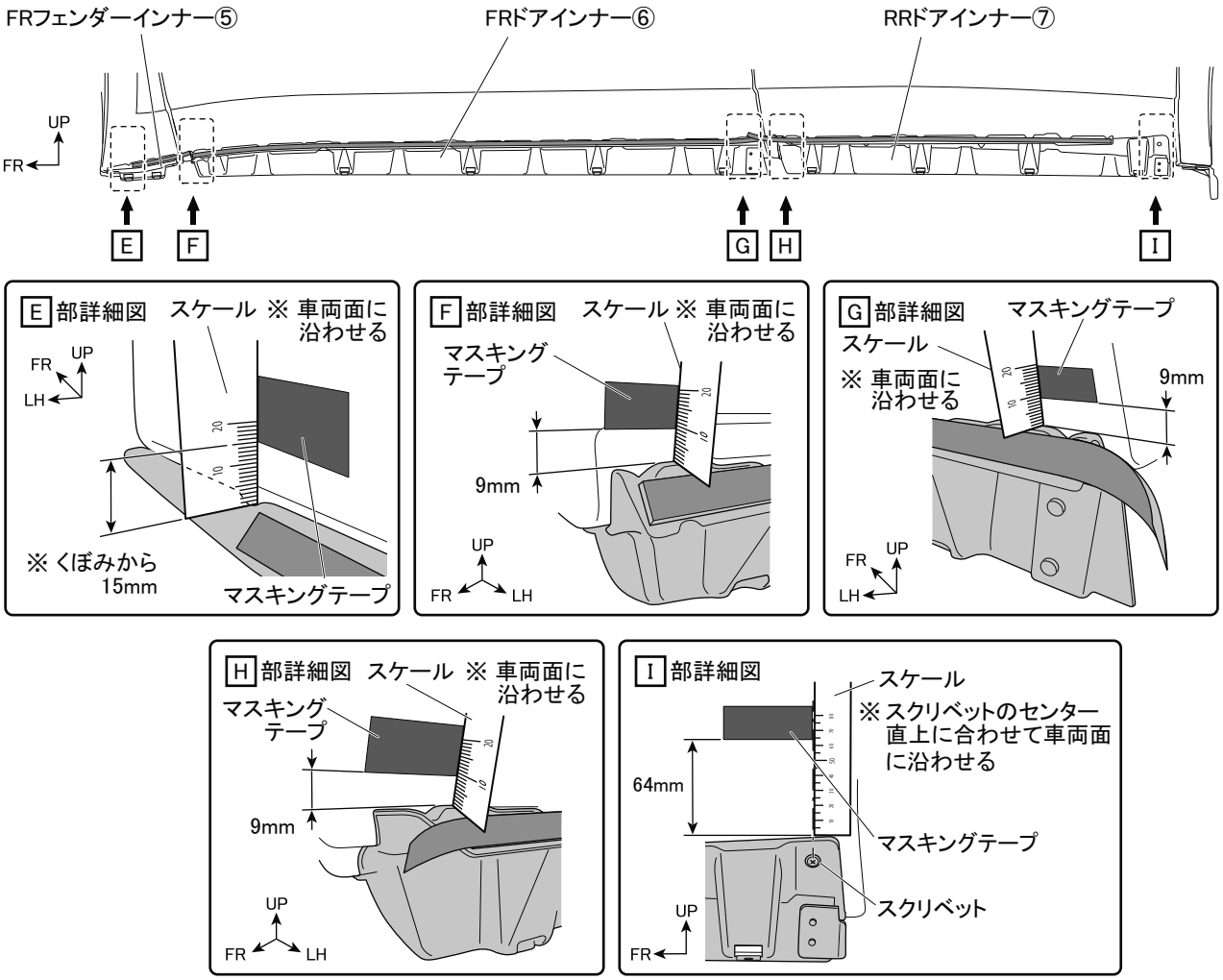
13. 図11のように、FRフェンダーインナー⑤(1箇所)、FRドアインナー⑥(5箇所)、RRドアインナー⑦(4箇所)の両面テープ離型紙を 1 ～ 10 の順に引き抜き、各インナーを圧着する。(2 ～ 5 、 6 ～ 8 はすべて引き抜いて圧着する。)

図11 ※ LH図示 左右共通作業



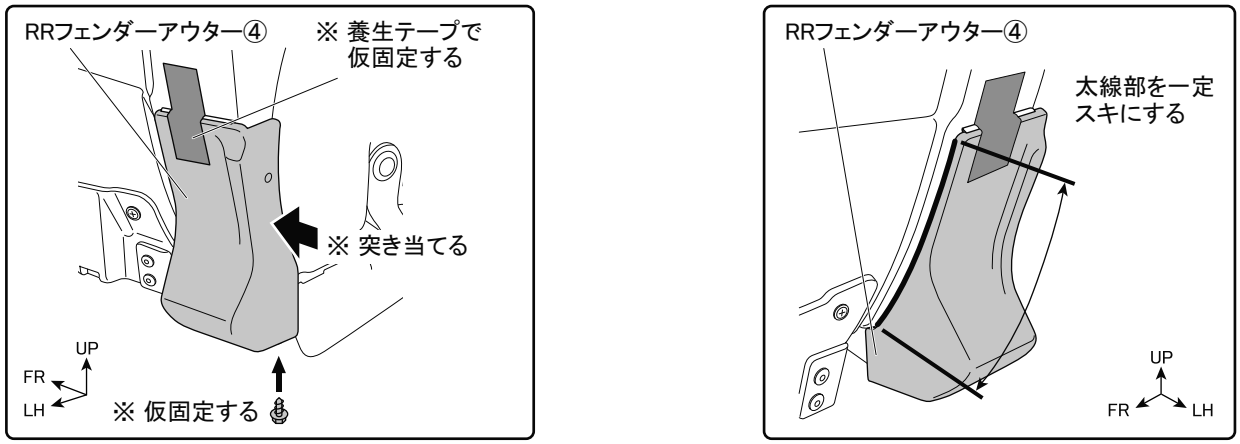
14. 図12の E ～ I の箇所で、各アウターパネル取り付け高さの位置出しを行なう。
図 E ～ I のようにスケールを当てて位置を出し、マスキングテープを貼り付けて位置の目安とする。

図12 ※ LH図示 左右共通作業



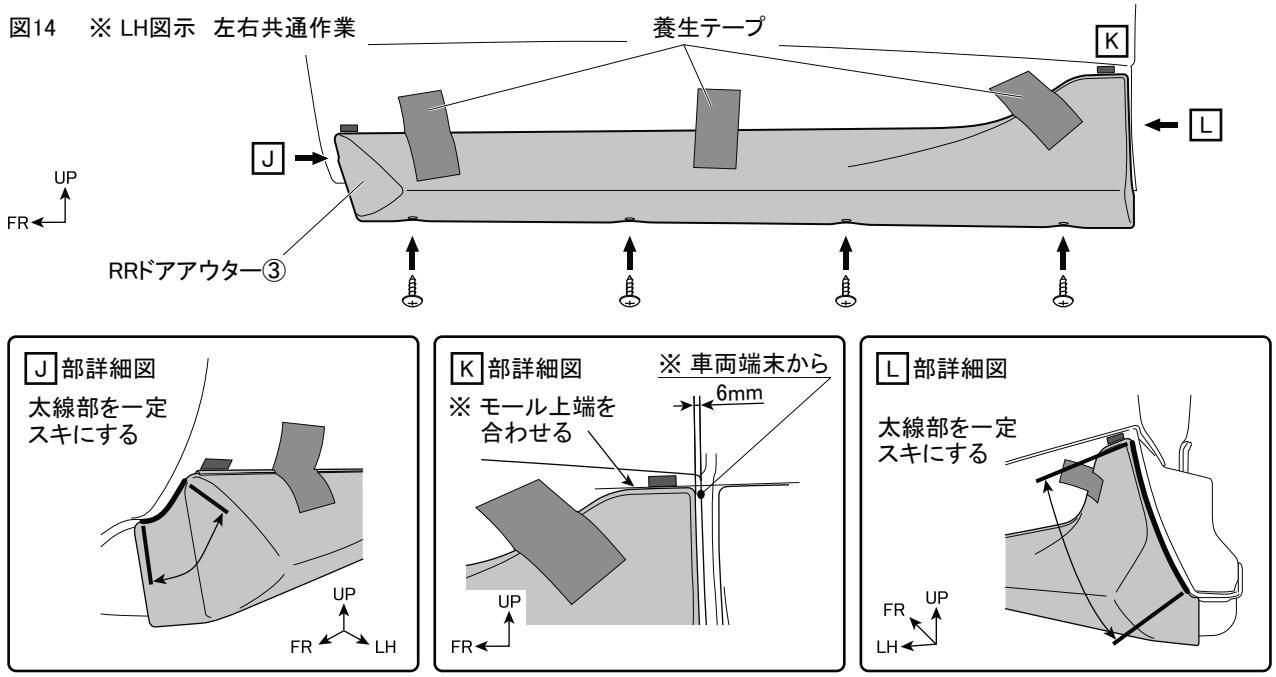
15. 図13のように、RRフェンダーアウター④を車両に合わせ、下面（1箇所）を車両スクリューで仮固定する。
タイヤハウス面を車両に突き当て、図の太線部のスキを一定にし上端部を養生テープで仮固定する。

図13 ※ LH図示 左右共通作業



16. 図14のように、RRドアアウター③を車両に合わせ、下面をタッピングスクリュー⑨で仮固定する。(4箇所)
RRドアアウター③モール上端を、車両のマスキングテープ下端に合わせ、J・K・L部を詳細図のように位置決めして養生テープで仮固定する。

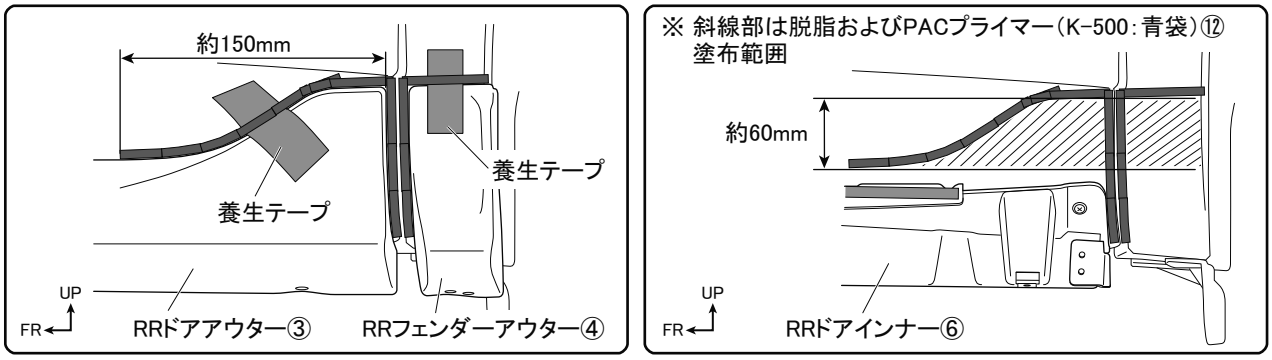
図14 ※ LH図示 左右共通作業



⚠ 注意：RRドアアウター③がインナーに載り上げないよう、注意して取り付けてください。

17. 図15のように、RRドアアウター③、RRフェンダーアウター④の端末に合わせてマスキングテープを貼り付けた後、RRドアアウター④、RRフェンダーアウター④を取り外す。両面テープ貼り付け部(斜線部)をイソプロピルアルコール(IPA)で一方向に拭いて脱脂し、一PACプライマー(K-500：青袋)⑫を塗布する。

図15 ※ LH図示 左右共通作業



⚠ 注意：脱脂を行なう際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。

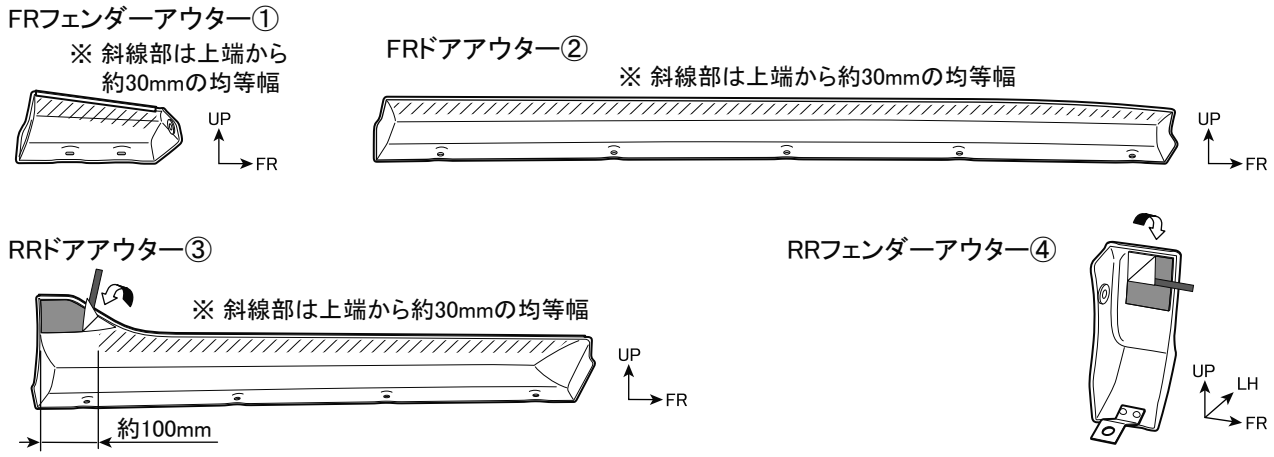
アドバイス：脱脂作業を行なう際は、換気に注意して火気を近づけないよう注意してください。

⚠ 注意：プライマーが塗布範囲以外に付着した場合は、直ちにイソプロピルアルコール(IPA)で拭きとってください。付着してしまいますと、変色する事がありますので注意してください。

18. 図16のように、FRフェンダーアウター①、FRドアアウター②、RRドアアウター③裏側の両面テープ貼り付け部（斜線部）を、イソプロピルアルコール(IPA)で一方向に拭いて脱脂し、PACプライマー（N210NT：赤袋）⑪を塗布する。RRドアアウター③、RRフェンダーアウター④は、各1箇所の両面テープ離型紙を一部剥がし、マスキングテープ等で表面側に貼り付ける。

図16　※ LH図示　左右共通作業

※ 斜線部は脱脂およびPACプライマー（N210NT：赤袋）⑪塗布範囲



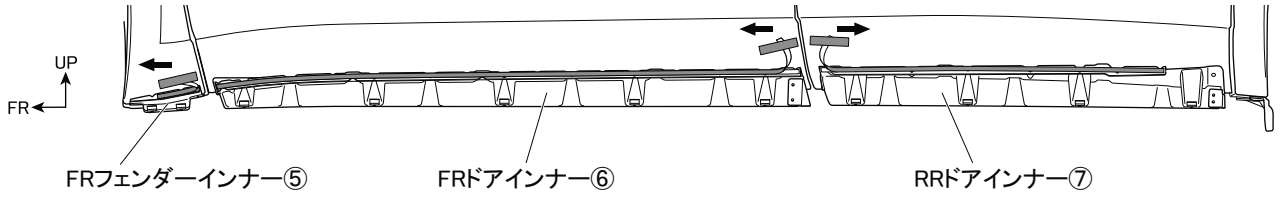
⚠ 注意：脱脂を行なう際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。

アドバイス：脱脂作業を行なう際は、換気に注意して火気を近づけないよう注意してください。

⚠ 注意：プライマーが塗布範囲以外に付着した場合は、直ちにイソプロピルアルコール（IPA）で拭きとってください。付着してしまいますと、変色する事がありますので注意してください。

19. 図17のように、FRフェンダーインナー⑤（1箇所）、FRドアインナー⑥（1箇所）、RRドアインナー⑦（1箇所）の両面テープ離型紙を矢印の方向に一部剥がし、マスキングテープ等で車両側に貼り付ける。

図17　※ LH図示　左右共通作業



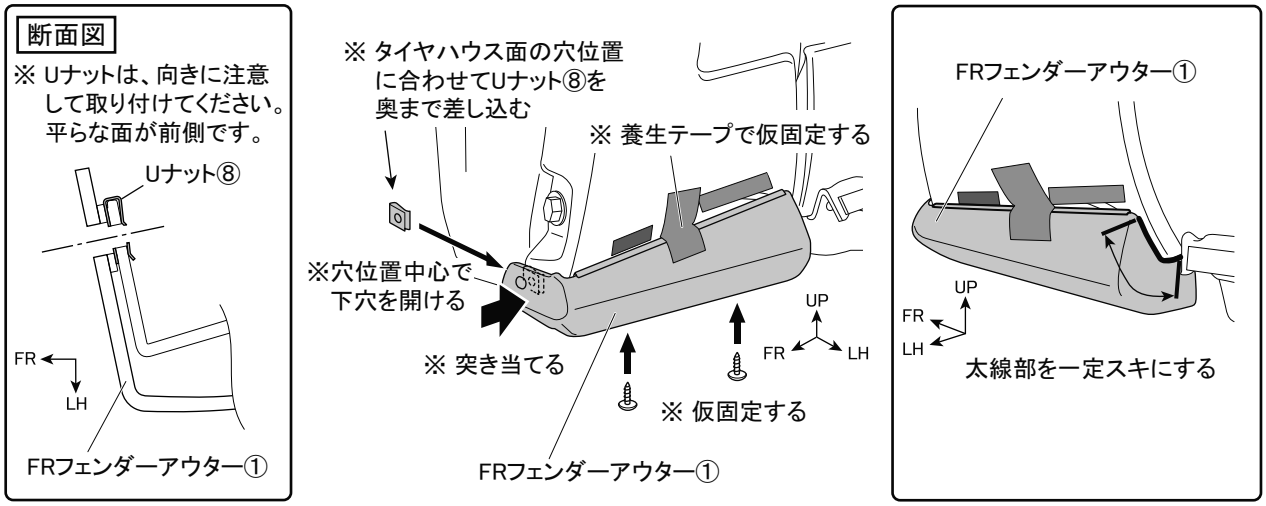
※ 本取付・取扱要領書は、主にLH側を示しており、RH側も同様に行なってください。

□ サイドスカート取付要領

1. 図18のように、FRフェンダーアウター①を車両に合わせ、下面をタッピングスクリュー⑨で仮固定する。(2箇所)
   タイヤハウス面の穴位置に合わせてUナット⑧を車両に差し込む。
   FRフェンダーアウター①のタイヤハウス面を車両に突き当て、モール上端を車両のマスキングテープ下端に合わせ図の太線部のスキを一定にし養生テープで仮固定して、タイヤハウス面の穴位置中心で下穴をあける。(1箇所)

アドバイス: ケガキ針または画鋲を使用して、下穴をあけてください。

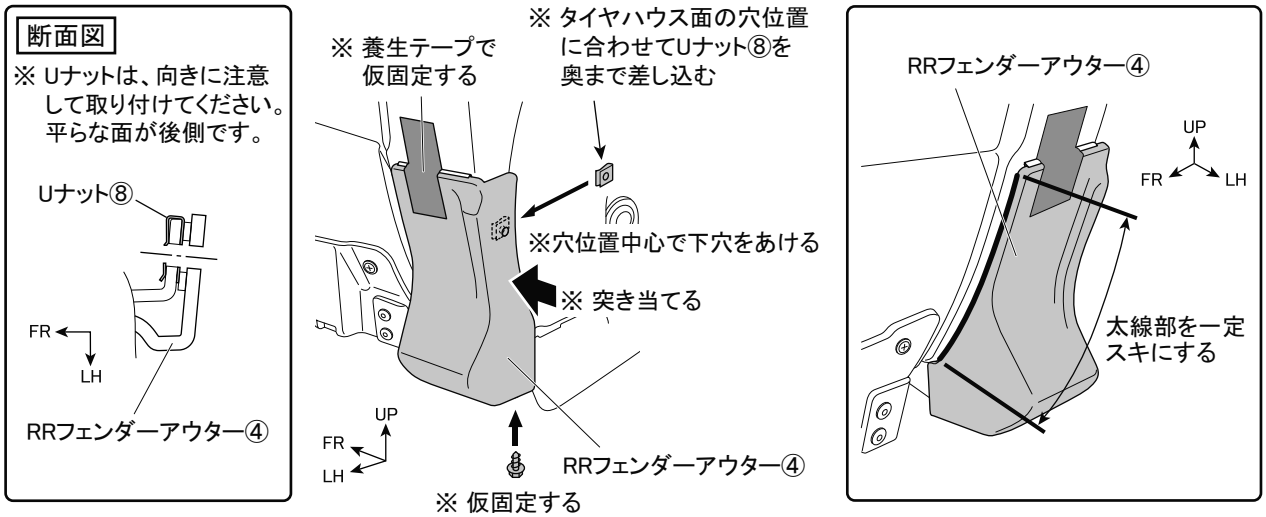
図18 ※ LH図示 左右共通作業



2. 図19のように、RRフェンダーアウター④を車両に合わせ、下面(1箇所)を車両スクリューで仮固定する。
   タイヤハウス面の穴位置に合わせてUナット⑧を車両に差し込む。
   RRフェンダーアウター④のタイヤハウス面を車両に突き当て、図の太線部のスキを一定にし上端部を養生テープで仮固定して、タイヤハウス面の穴位置中心で下穴をあける。(1箇所)

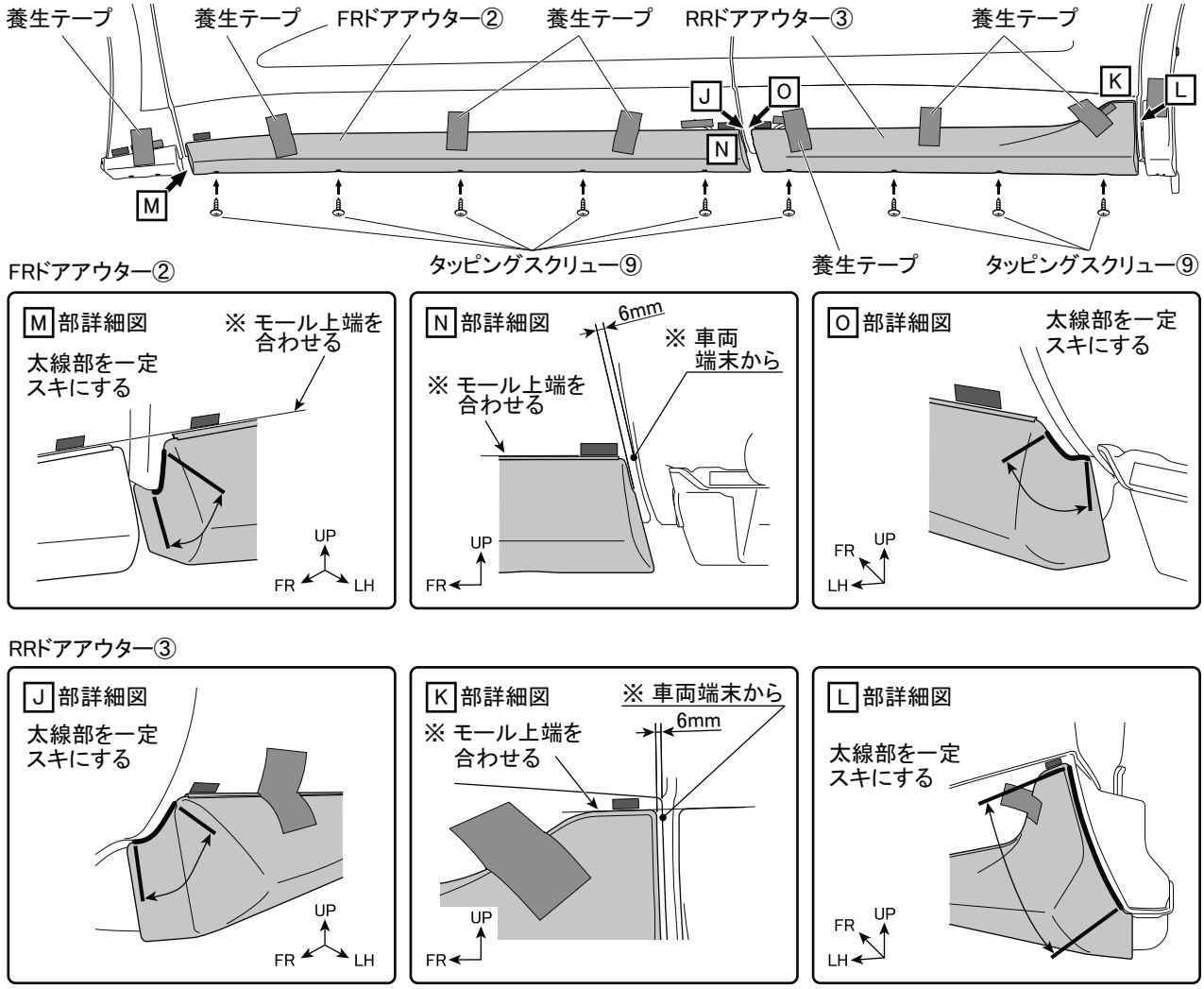
アドバイス: ケガキ針または画鋲を使用して、下穴をあけてください。

図19 ※ LH図示 左右共通作業



3. 図20のように、FRドアアウター②、RRドアアウター③のモール上端をマスキングテープ下端に合わせ、J・K・L部、M・N・O部を詳細図のように位置決めし、養生テープで仮固定して、下面をタッピングスクリュー⑨で仮固定する。（9箇所）

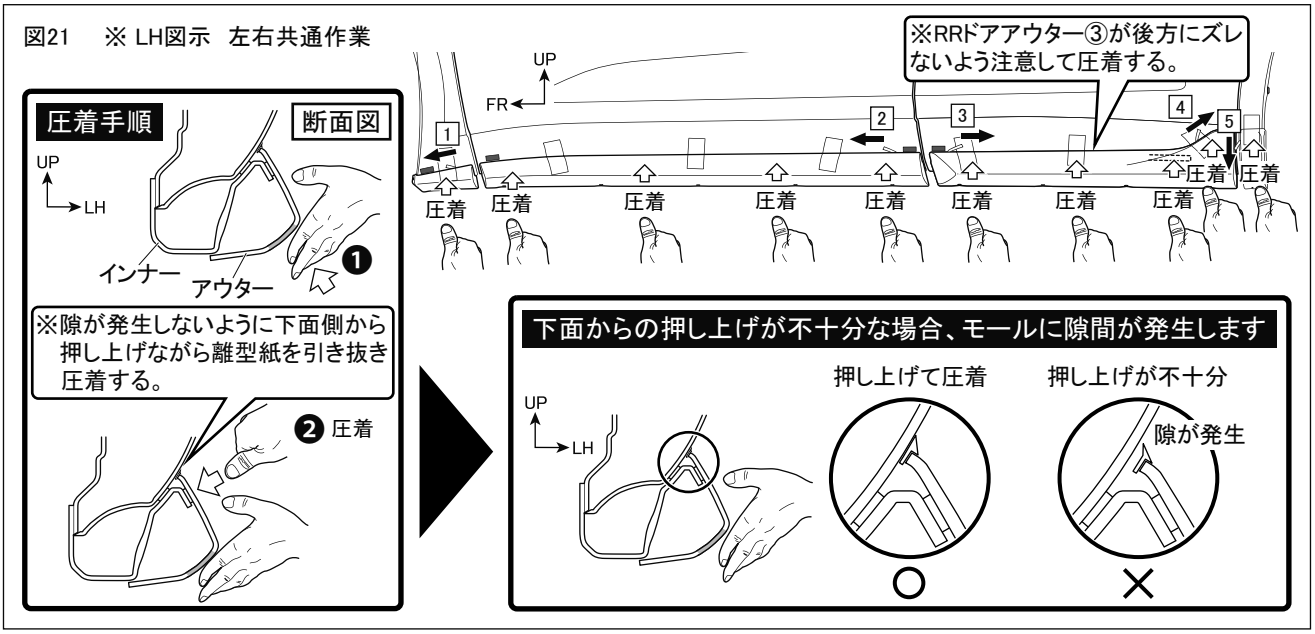
図20　※ LH図示　左右共通作業



4. 図21のように、FRフェンダーアウター①、FRドアアウター②、RRドアアウター③、RRフェンダーアウター④を車両とサイドスカートのモールに隙が発生しないように、下面側から押し上げながら両面テープ離型紙を 1 ～ 5 の順に矢印の方向に引き抜き、各インナーを圧着する。

⚠ 注意：圧着の際は、取付位置がズレて変わらないよう注意して圧着してください。
離型紙は、各アウターのモールをめくらないよう、十分に注意して引き抜いてください。

図21　※ LH図示　左右共通作業



アドバイス：両面テープの接着力は安定するまで3～5時間程度必要です。製品の取り付け後は、最低3時間程度、強い振動や風圧（車両の移動を含む）が掛からないように、オープンタイム（静止時間）をお取りください。

⚠ 警告：両面テープは十分に圧着してください。圧着が十分でない場合、浮き・剥がれ等の症状が発生し脱落などの重大な不具合が発生する可能性があります。
両面テープ接着後、24時間以内は雨・洗車等で接着部に水が掛からないようにしてください。接着力が低下し、剥がれ・脱落等が発生する可能性があります。

5. 図22のように、FRフェンダーアウター①をタイヤハウス面穴位置に合わせ、タッピングスクリュー⑨で固定（本締め）する。（1箇所）

6. 図23のように、RRフェンダーアウター④をタイヤハウス面穴位置に合わせ、タッピングスクリュー⑨で固定（本締め）する。（1箇所）

図22　※ LH図示　左右共通作業

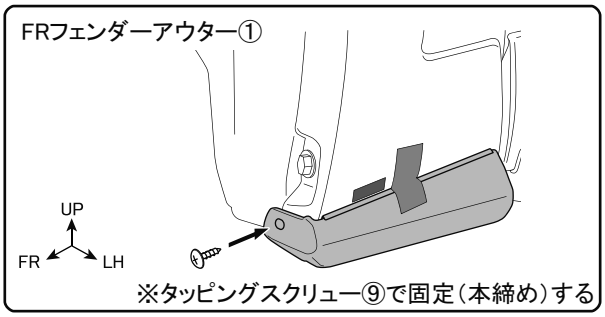
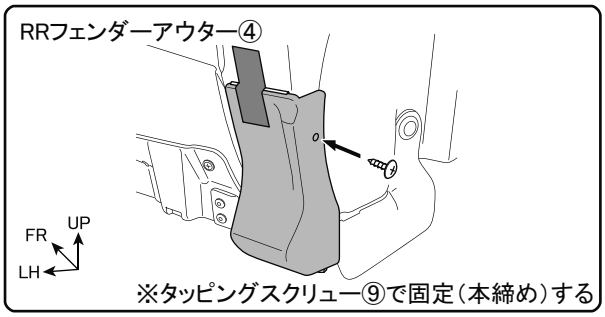


図23　※ LH図示　左右共通作業



7. 仮固定のタッピングスクリュー⑨（左右各11箇所）と車両スクリュー（左右各1箇所）を本締めし、すべての養生テープとマスキングテープを剥がす。

※ 締め付けには電動ドライバーを使用しないでください。Uナットをこわすおそれがあります。

■取付完了後の点検・注意事項

1. 製品全周にわたり、 浮き・剥がれ等、 無いことを確認する。
2. 車両及びサイドスカート廻りに傷が付いていないことを確認する。
3. 本取付けに伴い分解・脱着した部位により、 再設定・調整が必要となる場合があります。
該当車両の修理書（トヨタ自動車㈱発行）に従い、各部の点検・調整・設定を行なってください。

■ 未塗装品の取扱いについて

下記は、未塗装品（MS344-30015-NP）の塗装前、塗装後の作業を記載しています。
下記要領に従い、作業を行なってください。

⚠ 注意：本製品は下地処理として、製品表面の面出しまで実施してあります。塗装前の処理として、足付け、脱脂、プライマーサフェーサー塗装は、販売店様にて実施してください。

※ 本取付・取扱要領書は、主にLH側を示しており、RH側も同様に行なってください。

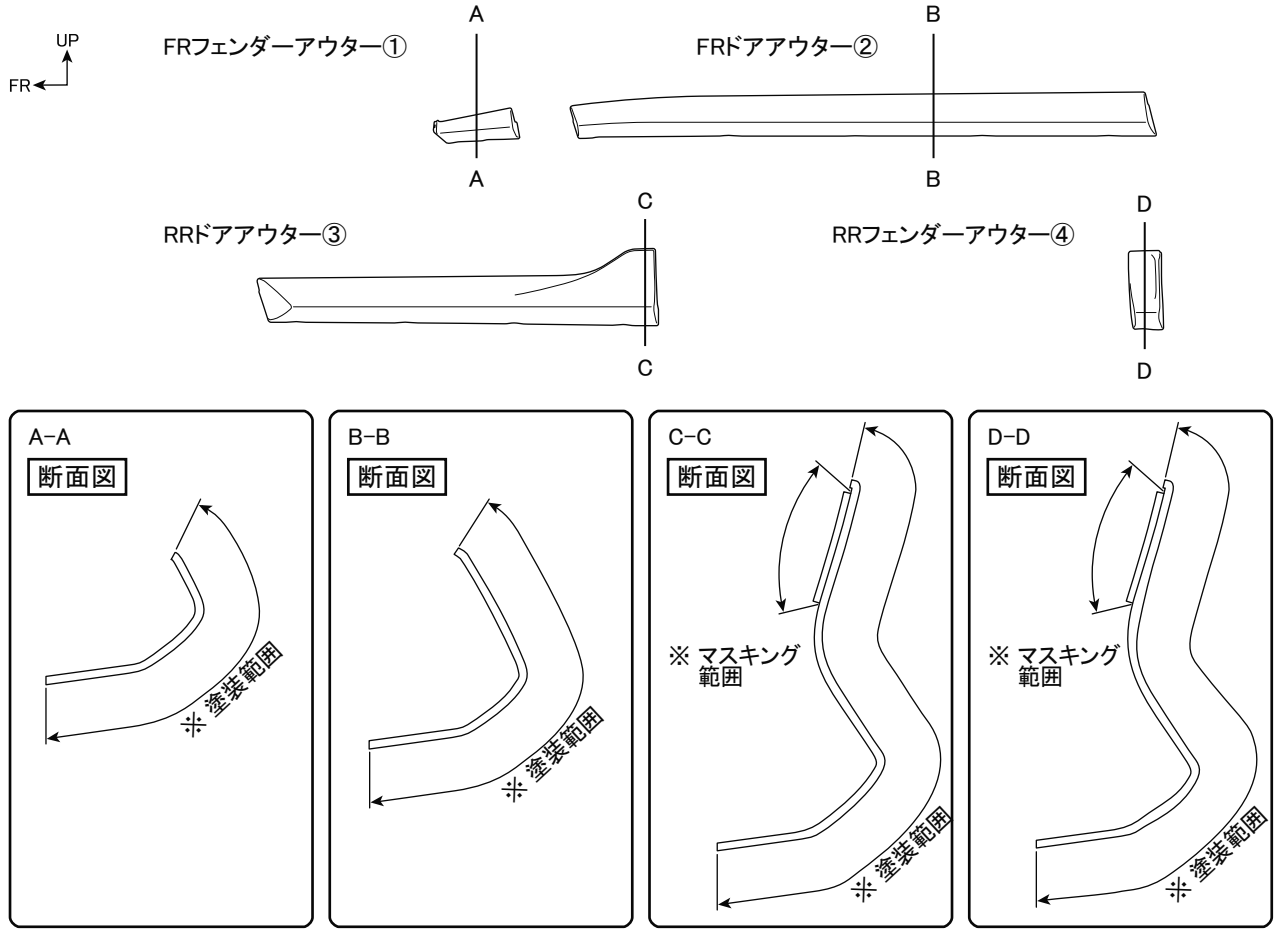
□ サイドスカートの塗装

1. 図24のように、FRフェンダーアウター①、FRドアアウター②、RRドアアウター③、RRフェンダーアウター④を、車両色で塗装する。

⚠ 警告：両面テープには、絶対に塗装しないでください。接着力が低下します。
マスキングテープを貼るなどして対応してください。

⚠ 注意：本製品の素材は〈ABS〉です。乾燥温度を60℃以上に上げますと、製品に変形や割れが発生しますので十分注意してください。上塗り用の塗装には、ウレタン系を使用してください。

図24　※ LH図示　左右共通作業

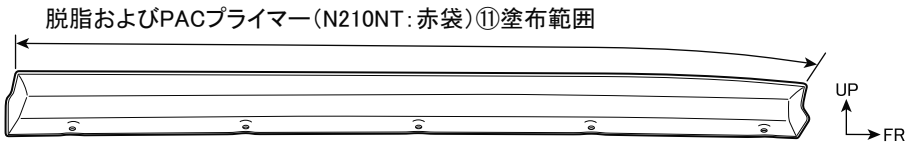


□ モールの貼り付け

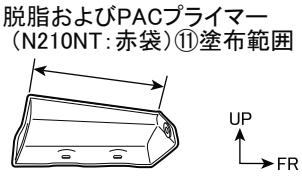
1. 図25のように、FRフェンダーアウター①、FRドアアウター②、RRドアアウター③、RRフェンダーアウター④のエンドモール⑬貼り付け部の汚れを取り除き、イソプロピルアルコール（IPA）で一方向に拭いて脱脂し、エンドモール⑬貼り付け部のみPACプライマー（N210NT：赤袋）⑪を塗布する。

図25　※ LH図示　左右共通作業

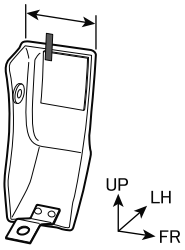
FRドアアウター②



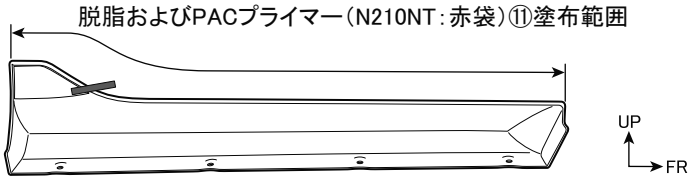
FRフェンダーアウター①



RRフェンダーアウター④



RRドアアウター③



⚠ 注意：脱脂を行なう際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。

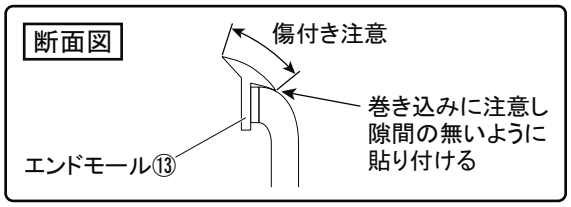
アドバイス：脱脂作業を行なう際は、換気に注意して火気を近づけないよう注意してください。

⚠ 注意：プライマーが塗布範囲以外に付着した場合は、直ちにイソプロピルアルコール（IPA）で拭きとってください。付着してしまいますと、変色する事がありますので注意してください。

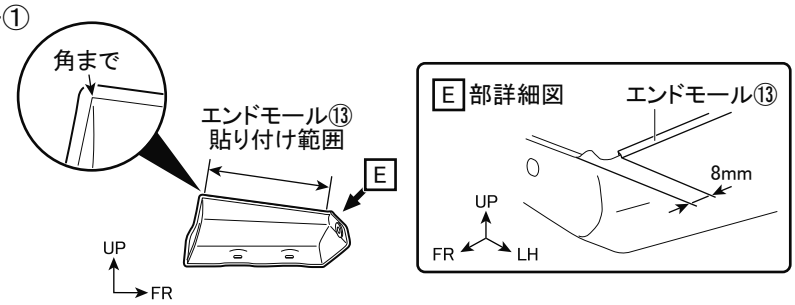
⚠ 注意：PACプライマー（赤袋）は、サイドスカート取り付け時に再使用します。揮発性が高いので速やかに袋に戻し揮発を抑えてください。

2. 図26のように、FRフェンダーアウター①、FRドアアウター②、RRドアアウター③、RRフェンダーアウター④にエンドモール⑬を貼り付け圧着する。

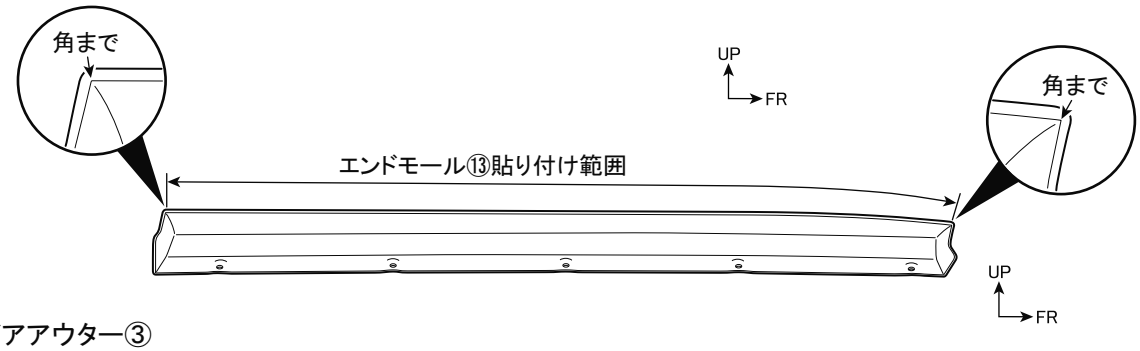
図26　※ LH図示　左右共通作業



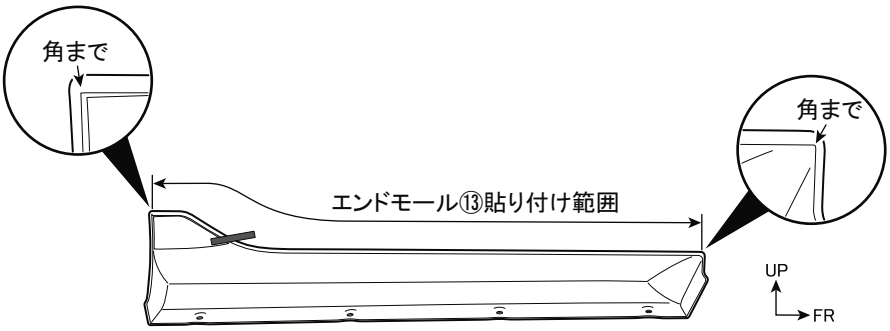
FRフェンダーアウター①



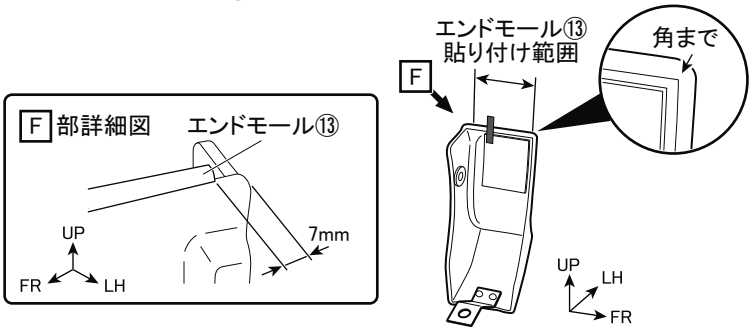
FRドアアウター②



RRドアアウター③



RRフェンダーアウター④

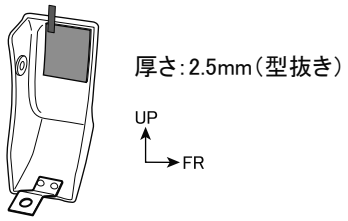


■ 補修キット両面テープ貼り付け

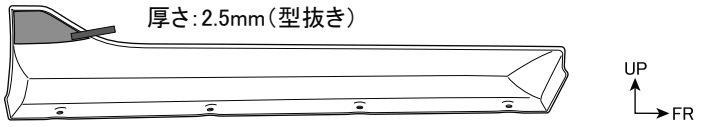
1. 補修キットを使用してRRドアアウター③、RRフェンダーアウター④、FRフェンダーインナー⑤、FRドアインナー⑥、RRドアインナー⑦の再取り付けを行なう際は、下図を参考に両面テープを選択し貼り付ける。

※ 両面テープを貼り付ける際は、貼り付け部を脱脂し、プライマー（PACプライマーK-500相当）を塗布する。

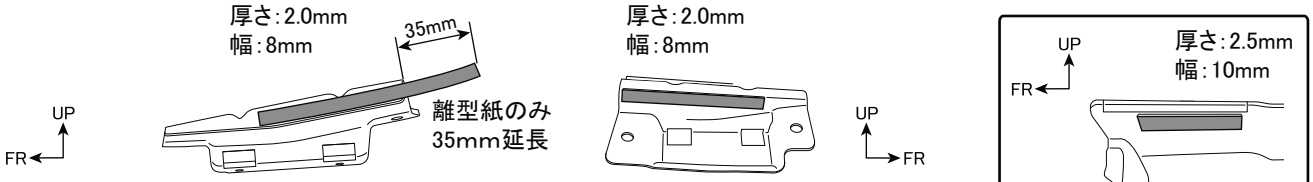
RRフェンダーアウター④



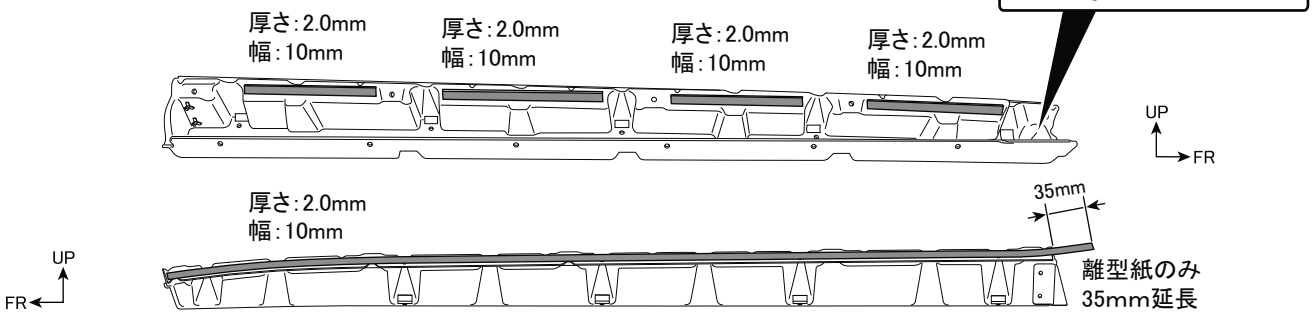
RRドアアウター③



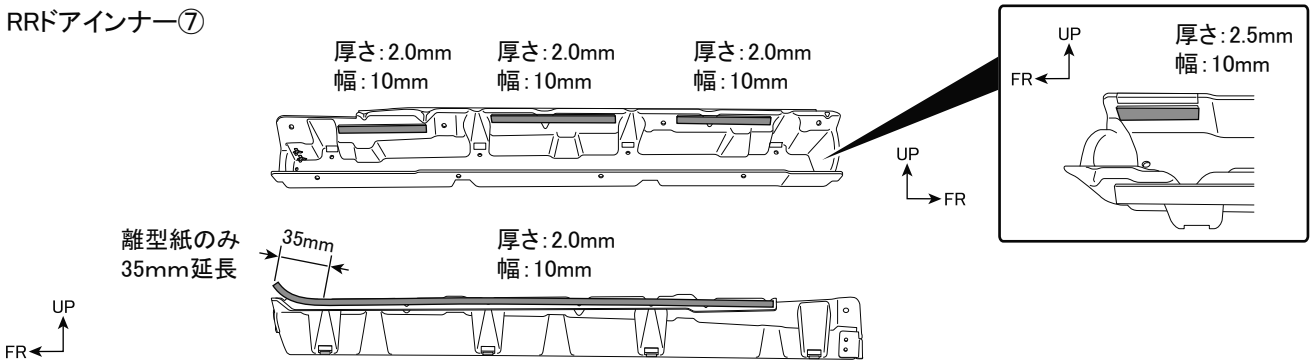
FRフェンダーインナー⑤



FRドアインナー⑥



RRドアインナー⑦



■取付完了後の点検・注意事項

1. 製品全周にわたり、 浮き・剥がれ等、 無いことを確認する。
2. 車両及びサイドスカート廻りに傷が付いていないことを確認する。
3. 本取付けに伴い分解・脱着した部位により、 再設定・調整が必要となる場合があります。
   該当車両の修理書（トヨタ自動車㈱発行）に従い、各部の点検・調整・設定を行なってください。

株式会社トヨタカスタマイジング＆ディベロップメント
ＴＲＤ商品問い合わせ窓口
TEL：050-3161-2121
https://www.trdparts.jp/

脱脂作業要領書

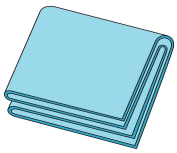
本書ではエアロパーツ等を取付ける際の脱脂作業について記載してあります。
取付け前に必ずお読みいただき、正しい要領で脱脂作業を行ってください。

エアロパーツの取付け・脱脂作業の要領を
解説動画でご覧いただけます。
右のＱＲコードよりアクセスのうえ
ご確認ください。

①エアロ取付準備・脱脂　（約３分）
②エアロ位置決め・取付・圧着（約６分）
③デカール準備・水貼り・圧着（約４分）
合計　約 13 分

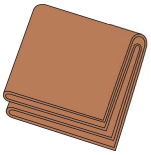
■　取付け時の脱脂作業に必要な工具等

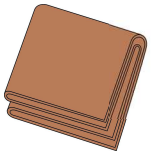
水拭き用バケツ


合成セーム皮

脱脂剤用
スプレーボトル

ゴム手袋


DRY 用
ウエス


WET 用
ウエス

イソプロピルアルコール(IPA)
※純度 100%推奨

■　脱脂作業上の注意事項

１．ホコリ・チリ等のない換気の良い作業場で作業を行ってください
２．隣接する場所で、ワックスがけやポリッシュ作業等は行わないで下さい。
　※飛散した油脂やワックス等の成分が車両に付着してしまいます。
３．脱脂剤を取り扱いの際は、眼・皮膚に触れないように保護具を着用のこと。
４．脱脂剤を取り扱いの際は、作業場に火気・熱源のないことを確認すること。
５．脱脂剤を取り扱いの際は、蒸気を吸い込まないように作業場内の換気に注意のこと。

⚠注　意・・・・注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがあることを記載しています。

アドバイス・・スピーディーに確実に作業していただく上で、知っておいていただきたいことを記載しています。

★脱脂作業概要《重要》

◎【脱脂作業】とは、取付け面の表面に付着した油脂分を取り除き、両面テープの性能を十分に発揮させるための重要な下地処理です。
下地処理が不十分だと、両面テープの性能が著しく低下して、浮き・ハガレ脱落などの不具合を起こす場合があります。
大変に重要な作業となりますので確実に行ってください。

◎ 脱脂剤は、取付け面に付着した油脂分を浮かび上がらせて、ウエスへの吸着を促す溶剤です。
脱脂剤で取付け面を拭いただけでは、十分な脱脂は行えません。
≪脱脂作業前に≫以降の作業要領を十分に理解したうえで作業を行ってください。

■　脱脂作業前に

- 取付け面のホコリ・チリ等の汚れを十分な流水で洗い流す。
  汚れのひどい場合は、洗浄剤を使用して汚れを落とし、洗浄剤を十分に洗い流すこと。
- 取付け面にコーティング等を施工されている場合は、除去剤・コンパウンド等を使用し除去してください。除去後、十分に水洗いを行ってください。
  ※コーティング剤が残っていると両面テープはハガレます。
- 水洗い後は、取付け面に付いた水滴を完全にふき取ってください。

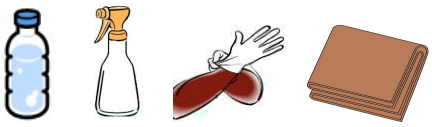
■　脱脂作業要領

- 取付け面の洗浄を行い、固く絞った合成セーム革等を使用し拭き上げて水滴をしっかりと取り除く。

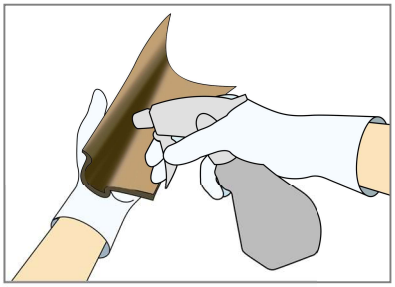
水拭き用バケツ

合成セーム皮

- スプレーボトルに入れた脱脂剤をWET用ウエスに吹きつける。


WET 用ウエス

※　ウエスは清潔なウエスを使用して、拭き上げ時にクズなどが出ない素材を選んでください。

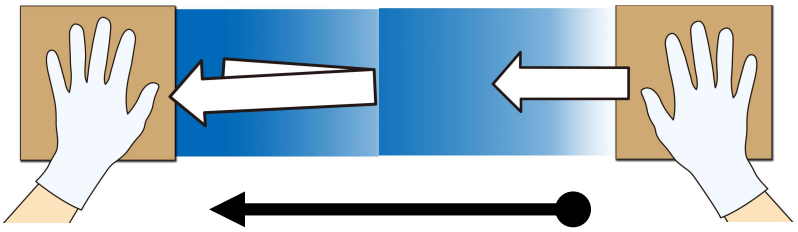


WET 用ウエスにスプレーボトルを５cm ほど離して、初回は１０回程度スプレーをして、ウエスが湿っている状態で取付け面を拭いてください。
以降は WET ウエス表面が乾く前に追加で５回程度スプレーし、常に湿った状態を保つようにしてください。

● 取付け面の脱脂作業を行う

①【WET 拭き】
脱脂剤を含ませたウエスで
１往復で拭き油脂分を浮き上がらせる

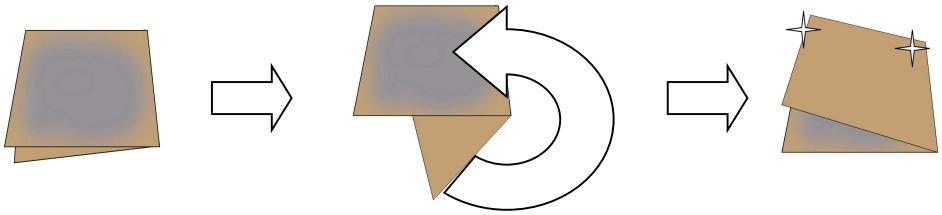
②【DRY 拭き】
DRY 拭きウエスで一方向に
拭き上げ油脂分を取り除く



１ブロック６０ｃｍ程度として両手に WET と DRY のウエスを交互に持ち
WET⇒DRY の順に拭き上げて脱脂する。
範囲が広い場合は１ブロック毎を数回に分けて行い、仕上げに面を通して拭き上げる

WET 拭きのあと脱脂剤が乾かないうちに DRY 拭きで一気に拭き上げを
行ってください。
（上図のように両手にウエスを持ち作業を行うと素早く作業できます。）

DRY 拭き作業後に拭き上げた面に、拭き跡が残っている場合は油脂分が
残っていますので、再度 WET・ DRY 拭きを行ってください。



WET／DRY のウエス共に３～５ブロック毎にウエス表面を折り返し
ウエスの拭き取り面が常に清潔な状態で作業を行ってください。

汚れたままのウエスを使い続けると、ウエスに拭き取った油脂分が取付け面に
再び付着して、エアロパーツの浮き・ハガレの原因となります。

脱脂作業がしっかり行われている取付け面は、DRY 拭きを行った際に
ウエスへの抵抗が増して、拭き上げが重くなります。
作業前と作業後のウエスの抵抗感を目安に、脱脂を行ってください。

脱脂後の取付け面には、指などを触れないように作業を行ってください。

脱脂後は長時間放置せず、すぐに作業を行ってください。

チリ・ホコリ等が付着しないように、十分注意してください。
パーツの取り付け方法は、各パーツの取扱説明書ならびに取付要領書に
したがって行ってください。